

小規模企業景気動向調査

[2020年11月期調査]

～6か月連続の改善も、感染拡大により小幅にとどまった小規模企業景況～

2020年12月24日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…6か月連続の改善も、感染拡大により小幅にとどまった小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業の業況DIは、6か月連続で改善したものの、改善幅は6か月中で最も小さかった。GoToキャンペーンやプレミアム商品券の発行等の景気刺激策により、全般的には依然緩やかな回復基調にある。しかし、中旬以降、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を受け、一部地域では各種施策の一時停止や外出自粛要請が出される等の影響で、消費の落ち込みが見られるとの声が多く寄せられた。今後の状況が見通せない状況にあるため、特に年末年始にかけての需要動向の懸念等、先行きの売上と資金繰りを不安視する声が目立った。

<製造業> ◇…引き続き回復基調も、業種・事業者ごとに明暗が分かれた製造業…◇

製造業は、6か月連続で全DIが改善した。食料品関連は、前月までと同様、巣ごもりで内食需要が堅調であること、GoToキャンペーン等の効果により、飲食店や観光施設等向けも回復の兆しが見られ、学校休業要請のあった2月の水準まで全DIが回復している。一方、機械・金属関連は依然として、国内外の需要停滞等の要因で、受注が安定しないため、厳しい状況との声が多く聞かれた。また、繊維関連は、受注量が減少し回復の見通しがたっていない中で感染が再拡大したことにより、全DIが悪化となり、引き続き厳しい状況である。

<建設業> ◇…回復基調が加速も、一抹の不安がある建設業…◇

建設業は、全DIが大幅に改善し、6か月連続の全DIの改善となった、公共工事が堅調であることに加え、災害復旧工事が引き続き好調であること等から、全般的に業況が好転している。また、感染症対策で、エアコンや換気扇等の空調工事が続いており、関連事業者は好調を維持している。しかし、水準は学校休業要請のあった2月に届かず、また、依然として人手不足は解消せず、一部では新規の受注の減退等もあり、先行きを不安視する声が目立った。

<小売業> ◇…小幅な回復基調が続くも、業種・地域等によりまだら模様の小売業…◇

小売業は、先月に比べると小幅ながら改善した。食料品関連は、内食向けが、プレミアム商品券の発行等の景気刺激策や巣ごもり需要により、好調を維持している。衣料品関連は、未だに、外出自粛傾向が根強く、消費者の購買意欲が減退していることから伸び悩んでおり、厳しい状況が続いている。耐久消費材関連は、引き続き、各種景気刺激策等の効果により、緩やかではあるが回復基調にあるが、一方で、商品券等の換金の手続きに時間を要するため、資金繰りに影響が出ているとのコメントがあった。

<サービス業> ◇…前月までの好調から一転、悪化に転じたサービス業…◇

サービス業は、先月から一転、全DIが悪化した。宿泊業は、GoToキャンペーン等の効果で客足が戻ってきたこともあり、大幅な回復基調が続いていたが、中旬以降、全国的な感染再拡大に伴い、予約のキャンセルが相次ぎ、悪化に転じた。また、年末に向けて感染拡大が収束しないと回復が見込めない等、今後、業況が更に悪化することを懸念するコメントが多く、予断を許さない状況である。また、洗濯業についても宿泊業の悪化に伴い受注減や、外出控え、在宅勤務の増加の流れを受け、厳しい状況となっている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 46.3	▲ 44.1	2.2	▲ 56.0	▲ 51.0	5.0	▲ 36.6	▲ 29.4	7.2
採算	▲ 47.5	▲ 44.6	2.9	▲ 56.6	▲ 52.2	4.4	▲ 39.9	▲ 34.2	5.7
資金繰り	▲ 44.9	▲ 43.5	1.4	▲ 49.7	▲ 49.6	0.1	▲ 37.5	▲ 31.4	6.1
業況	▲ 49.7	▲ 47.5	2.2	▲ 58.8	▲ 56.2	2.6	▲ 40.5	▲ 33.3	7.2

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 45.2	▲ 43.8	1.4	▲ 47.6	▲ 52.3	▲ 4.7
採算	▲ 48.5	▲ 43.7	4.8	▲ 45.3	▲ 48.6	▲ 3.3
資金繰り	▲ 45.7	▲ 44.5	1.2	▲ 46.9	▲ 48.3	▲ 1.4
業況	▲ 51.3	▲ 48.4	2.9	▲ 48.2	▲ 52.2	▲ 4.0

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

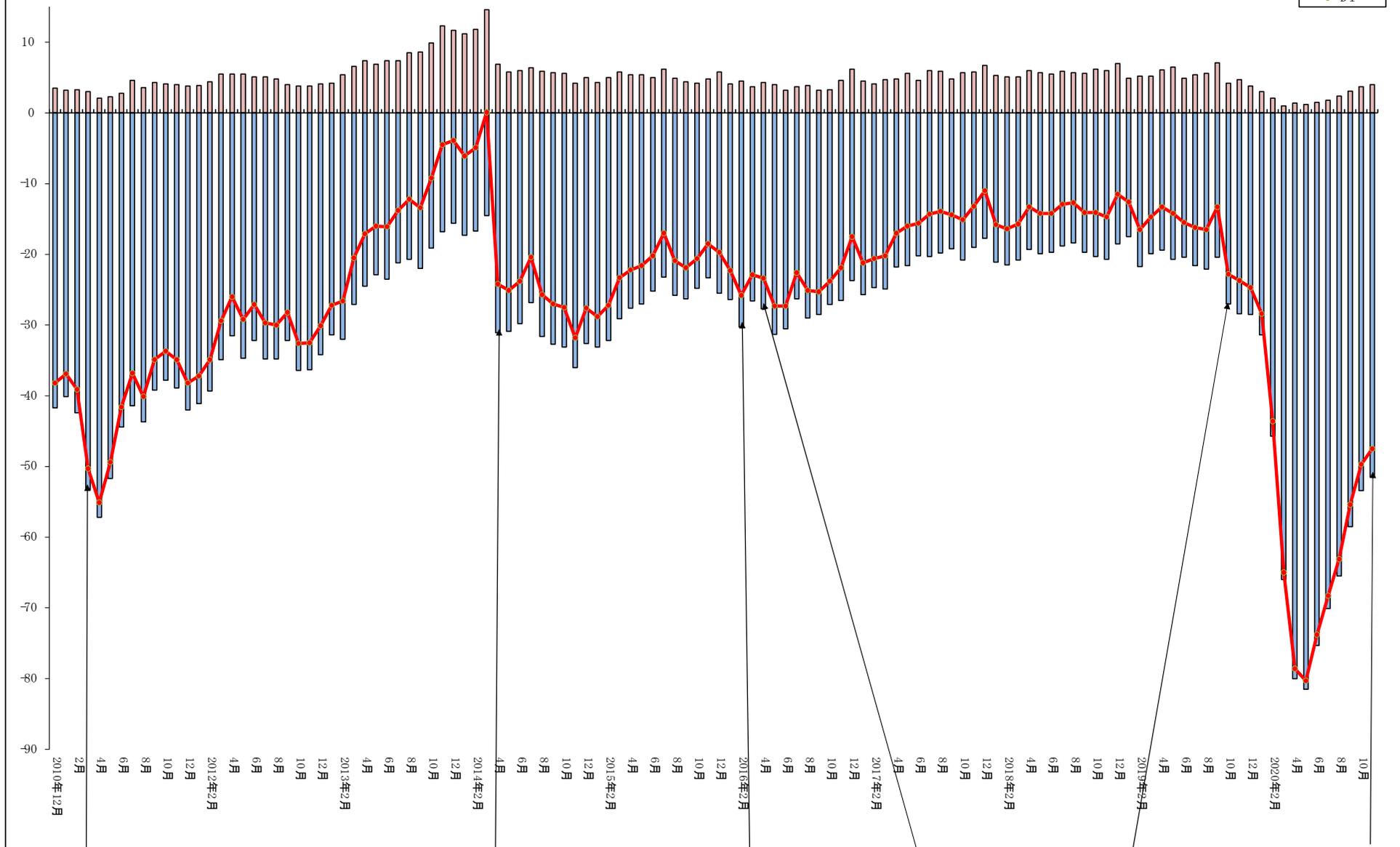
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:牧

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



11年3月
東日本大震災
(-50.3)

14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

16年4月
熊本地震 (-23.4)

19年10月
消費税率10%引上げ
(-22.8)

20年11月
(-47.5)

小規模企業景気動向調査(11月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・市内においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、個人消費は、緩やかに持ち直し傾向を11月も維持したものの、11月中旬以降、北海道や東京も含め、関西地方でも感染爆発傾向が強まり、4-5月のような緊急事態宣言の発出等を余儀なくされる可能性が国内外で急速に高まっていることから、上向き傾向を維持してきた市内動向については、年末年始を迎えるにあたり、先行き不安が広がっている。経済活動の再開が進んでいる中で、感染拡大の影響により、家計消費額が一年で最も大きい12月にかけて経済の減速を懸念する声が多い。

(川西市商工会)

・対馬市においては、昨年発生した韓国人観光客激減や今年のコロナ感染拡大に伴う売上減少に喘いでいる宿泊・飲食業者が多く存在する。しかしそのような業況においても、国・県・市の各補助事業を申請・活用する事業者が想像以上に多く見受けられる。補助事業で施設設備・機能の更新・新規導入を実施し国内内容の受け入れ態勢整備をおこなっており、今後に期待が持てる。

(対馬市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・11月に入り、飲食店にはお客様が戻ってきていたが、新型コロナウイルス感染者の増加や時短営業の影響を受け、12月の繁忙期の忘年会・宴会が全てキャンセルしてしまっているお店があることから、新年にかけて飲食店は特に今後の状況が見通せなくなってきた。

(八千代町商工会)

・月の初め頃はGoToEatなどの効果もあって特にお昼の時間帯においては、飲食店のお客さんが戻りつつあった。しかし、後半は、感染が拡大傾向になってきたことで忘年会等の大人数での会食をキャンセルするといった動きが増えてきており、依然厳しい状況が続いている。建設業に関しても徐々に新型コロナウイルスの影響が出始めてきているという声が聞かれる。

(栄町商工会)

・新型コロナウイルス感染症の第3波拡大と更なる感染拡大が続いてしまうと、再び国の緊急事態宣言が発令され、4月から5月にかけての自主休業や営業時間の大幅短縮が相次いだような状況に陥り、事業継続が困難となる飲食業やサービス業の廃業が相次ぐことが懸念される。

(泊江市商工会)

・全国的な新型コロナウイルス感染拡大傾向を受けて、年末年始にかけての需要動向を心配している事業者が多く見受けられ、景気に陰りが見え始めている。

(石央商工会)

・11月に入り、新型コロナウイルスの感染が一気に拡大し、せっかく持ち直しつつあった景況感が一気に悪化。感染拡大に歯止めがかからない状況では、景気も12月以降更に悪化する様相。

(東温市商工会)

・景気回復の兆しが見え始めた矢先、GoToトラベル等により県外者の往来が活発化し感染拡大(第3波)に繋がり、その影響により客足は減り飲食店は忘年会の予約のキャンセル相次ぎ、個人客の足も途絶え瀕死の状況である。なかでもスナック等は最たるものである。また、旅館業においては回復してきた矢先キャンセルが相次ぐ状況となっている。今後年末を迎えるにあたり厳しい状況が続いている。

(えびの市商工会)

2. 製造業

・食料品関連の製造業は、当地の観光土産の製造業者はGo Toトラベル キャンペーンや個人観光客の近隣観光の復調により前年並みに復調。売上が伸びる年末に向け、期待感が高い反面、新型コロナウイルス罹患者増加に対する警戒感が高まっている。繊維工業関連の製造業は、新型コロナウイルスの影響を受けてたが、回復基調がみられる。第3波の影響が懸念される。機械金属関連の製造業は、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きつつある。海外取引はまだ回復していないが、国内取引は前年並みとなり、資金繰りも問題なく利益も確保できている。

(中部商工会産業支援センター)

・食料品外の製造業(特にBtoB)は全体的に業況が好転した。コロナの影響も落ち着いてきており、EC販売が需要を後押しした。今後も好転する見通し。

(玖珠町商工会)

・食品製造業はゴーツーtravelで観光客入込が増えており土産品・飲食店等を中心に動きが出てきた。特に土産品関係は供給が追い付かないほどとなっている。

(屋久島町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・機械金属製造業に関しては、部品需要の回復は見られるものの、下請けまで十分仕事量が戻らず、売上の目途がつかない事業所が多い。

(栗原南部商工会)

・食料品製造…管内で感染者が確認されると、売上低迷が続く。それでも個人消費は堅調なことから稼働率も大きな低下までには至っていないが、好材料に乏しい。GoToイート等の国策に期待したものの、一方でコロナ第3波が来ており、更なる売上への影響が懸念される。繊維工業…コロナ需要でマスクや防護服などの生産を請け負っていたが、同業他社が増え、供給量が安定し低単価になったことで受注が減少。機械・金属…受注状況が安定せず、厳しい状態が続く。既存取引先からの紹介により新規取引も出ているが数量・単価ともに好条件とは言えず、継続した取引に繋がる見込みがない。資金繰りが悪化する前に対策が必要。

(由利本荘市商工会)

・繊維製造関連の事業者は、材料の輸入が困難なため、国内製品製造への転換を余儀なくされている。

(中之条町商工会)

・繊維製造は構造的に厳しい状況にある中、コロナ禍の影響が再び産業用資材もアパレル関係にも及んできている。機械金属に於いても、コロナ禍の受注減で厳しい状況が続いている。

(坂井市商工会)

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生産活動は弱めの動きであり需要は回復基調にあるが、業務機械等製造業種は、国内外の需要低迷により低調な生産である。

(雲南市商工会)

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

・公共事業の発注は予定通り実施されており堅調。除雪期に入ったが今のところ暖冬で少雪のため除雪を受け持つ事業者は多少懸念しているものの一般土木工事は前年並みに推移し安定している。

(小平町商工会)

・上下水インフラ工事等、防災減災対策等、公共工事は堅調。建築は住宅需要低下とコロナで二重苦も、中には営業により取引先の増加、売上前年比150%達成の事業所もある。

(小矢部市商工会 津沢支所)

・引き続き台風復興関係の工事が続いており、好調。建築関係でも企業、個人からも受注が確保されている。職人不足、現場監督不足は引き続きの課題。

(佐久市望月商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・下請業者が多数。4-5月は大手会社の方針で当初は休業要請や材料部品の調達難、工期の延期、中止など影響を大きく受ける事業者が目立った。現在は動きが戻りつつも、延期や中止による資金調達に不安を感じている事業者が目立つ。

(内郷商工会)

・新型コロナウイルス感染症防止の一環として除菌ユニット付きのエアコンや換気扇取付け等の空調工事を行う事業者は売上等増えているが、それ以外の建設業種は前年並みの売上を確保するのに手一杯な状況。

(泊江市商工会)

・土木・建設共にコロナ以前まで回復傾向にある事業者が増えてきた。しかし、特に一般個人住宅の工事の際に、他県の業者が来ることに難色を示す顧客もあり、対応の検討が必要と感じる。

(養老町商工会)

・建設業では、電気設備の工事やメンテナンス等を行っている事業所はある程度の売上を確保している。

(東近江市商工会)

・建設関連の事業者は、コロナウイルスの影響による景気低迷の煽りを受けて、受注難・資材調達難・人出不足の状況が続いており、全体的に売上が減少している事業者が多い。

(南九州市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・巣ごもり効果もあってか、食品小売業は例年以上の売上の良さを実感している模様である。

(朝日商工会)

・消費者マインドが落ち込む中でも、GOTOトラベル地域クーポン利用の影響もあり、極端な売上減少は無い。年末にむけて、巣籠り用商品の品揃えに注力する小売店が増加している。

(小矢部市商工会 津沢支所)

・食料品関連の事業者は、引き続き家庭で食事する機会が増え、売上を伸ばしている。ただし、商品券等による換金に時間がかかり、資金繰りは厳しい状況。

(能登鹿北商工会)

・衣料品関連の小売業は、高価格品への購入は少なく、外での活動に必要なものの売れ行きが落ちており、売れ残りが出ている。食料品関連の小売業は、gotoトラベルにより、地域の土産店も回復基調の動き。スーパーマーケット等は依然好調を維持。耐久消費財関連の小売業は、消費者の購買意欲は良化傾向との声が多かった。

(中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

・衣料品小売り関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、外出機会が制限されるなど販売機会を失い売上が落ち込み、資金繰りに影響がみられる。食料品小売、耐久消費財関連の事業者は新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、プレミアム付商品券の利用などから大きな売上減少は無い状況である

(新ひだか町商工会)

・衣料品は外出の自粛により、対前年比厳しい状態が続いている。食料品は自宅での食事機会の増加で比較的堅調に推移しているが、宅配可能な店舗にはより需要がある。

(寺泊町商工会)

・各種商品券事業等で現金化が遅く、資金繰りが厳しい状態である。食料品小売業関係では、外出自粛等の影響を受け、一般的な食料品関係は増加傾向。多くの野菜関係で値下がりしている。

(伊豆の国市商工会)

・衣料品小売業は、外出控えにより衣料品購買マインドが低迷。食料品小売業は、外出控えによる中食等の需要が堅調であるが、飲食業の団体予約等が殆どなくなっており、全体としてやや厳しい状況。耐久消費財は、引き続きネット販売を中心に大きな変化は見られない。

(瀬田商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・小売業同様にサービス業においても、人手の増加傾向が継続してみられており、飲食業や理美容業、生活関連サービス業では、緩やかではあるが、消費の回復基調を高めた。ただし、感染拡大前の水準を上回るまでは至っておらず、消費回復幅は緩やかにとどまっている。先行きについては、コロナ第3波の到来で、年末商戦への影響と経済活動の再停滞化に不安感を募らせている。

(川西市商工会)

・旅館関連のサービス業は、引き続きGotoトラベルの影響で、ほぼ満室が続く。第3波により、キャンセルが出ているが、すぐに埋まっている。洗濯関連のサービス業は、gotoトラベルとカニのシーズンが重なり、旅館の稼働が好調になった事から、リネンサプライは昨年同等まで回復も、一般クリーニングの動きは低調。理美容関連のサービス業は、売上は多少の減少はあるが、徐々に前年並みに回復している。

(中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

・旅館・宿泊業関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊客が減少、工事関係者の宿泊があるものの従来の売上を補うにはほど遠く、今だ、厳しい状況がつづいている。洗濯業関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、売上が減少し、厳しい状況がつづいている。理美容業関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響(外出自粛)のため、売上が減少し、資金繰りに影響が見える
(新ひだか町商工会)

・宿泊業はコロナウイルスの影響により減少している。Gotoトラベルや商品券事業の施策により若干持ち直してきたが、感染者が増加傾向にあるため今後も減少傾向が続くと思われる。

(大槌商工会)

・宿泊業は、GoToトラベルのおかげで売上が前年を上回る施設がいくつも見られる一方、恩恵を全く受けられず開店休業状態にある宿も散見され、好不調の差が両極端になっている。洗濯業は、主な顧客である宿泊施設について客の入込が少ないところが多いため、売上が大きく減少している。理美容業は、旅行や冠婚葬祭などの機会が減っていることにより、お客様の利用間隔が延びたり格安店で済ませたりするお客様が増えているため、売上減少が続いている。

(妙高高原商工会)

・旅館は、GoToトラベルの影響で、若干取り戻すも、インバウンド需要は減少傾向にあり、昨年度の焼く6割程度の需要。洗濯業は、提携しているホテルの売上低迷でリネン等の需要の減少が響いており厳しい状況。理美容業についても、コロナ禍以降、来店頻度が減っており、自宅等で済ませる消費者も増えてきている傾向にある。

(瀬田商工会)

・各種gotoキャンペーンが、各業種収益回復への足掛かりとなっていたが、新型コロナウイルスの新たな感染拡大が急ブレーキをかけている。感染症対策費の負担もあり、前年同月比で上回っている事業者はほぼ見当たらない状況である。比較的感染拡大の影響が甚大でない地域ではあったが、今後の状況次第では廃業・倒産も増えてくる可能性を感じている。

(四万十町商工会)